

重点医療機関を設置します

県内では、3月下旬から、一日の新規感染者数が10人を超える日が続くなど、新型コロナウイルス感染者は増加傾向にあります。

また、24万人以上の方々にご登録いただいているLINEを活用した「新型コロナウイルス対策パーソナルサポート」のデータを分析した結果、発熱などの症状がある方がこれまでより増えていることがわかりました。

これは、まさに今、感染のフェーズ(段階)が変わりつつあることを示しています。

そこで、県では、オーバーシュート(感染爆発)が起きることを想定し、感染爆発による医療崩壊を何としても防ぐため、新型コロナウイルスを乗り切る新たな医療体制「神奈川モデル」を整備しました。

県民の皆様や医療機関、関係者の皆様に、ご負担をお願いすることとなりますが、県民のいのちと健康を守り、一日も早く感染を終息させるため、ご理解とご協力をお願いいたします。

県の取組み

○「帰国者・接触者外来」を受診し、入院が必要と診断された中等症の患者を受け入れる「重点医療機関」を設置します。

- ・県立足柄上病院
- ・県立循環器呼吸器病センター
- ・国立病院機構相模原病院 ※この他、複数の医療機関と調整中

新型コロナウイルスとの闘いは、長期戦になることが予想されます。そのため、すべての医療機関の皆様に、次のことをお願いします。

《医療機関へのお願い》

- ◆急を要しない入院や手術について、できる限り最大限の抑制や延期をしていただき、これからの緊急事態に備えた医療スタッフと病床の確保をお願いします。
- ◆重点医療機関を支援するため、患者の受入れや、医療スタッフ・事務職の方の重点医療機関への派遣などにご協力ください。

令和2年4月1日

神奈川県知事 黒岩 祐治